Daniel Newman's

WELCOME DEMONS

歓迎親子鬼像



Illustrations by

Kunihiko Tsuchiya

NEW MILL INDUSTRIES

Daniel Newman's

WELCOME DEMONS

歓迎親子鬼像

3人用　大富豪系ゲーム

北海道南部にある人気の温泉街、登別は、「鬼」と特別な関係を持っています。通常、悪意のある妖怪として描かれることが多い鬼ですが、登別の鬼たちは、「地獄谷」として知られる温泉を囲むこの町の守護神なのです。彼らは薬湯から悪霊を追い払う役割を担っており、町に繁栄をもたらす天然の沸騰した湯に、無謀な観光客が落ちてしまうのを防いでいるとも言われています。

内容物

鬼カード 45枚
・1～9　各5枚
・1～3は緑、4～6は青、7～9は赤
・全ての鬼カードの裏面にはカードの色が描かれています

観光客カード 39枚
・プレイヤーごとに1セット　3色各13枚

トラックカード　3枚
トラックディスク　2枚

ゲームの概要

『Welcome Demons』は、3人専用の大富豪系ゲームで、いくつかのユニークな仕掛けが盛り込まれています。一般的な組み合わせ（同数のペアや連番など）を作るのではなく、それぞれ独自の条件を持つ「観光客」を守るためにカードを組み合わせる必要があります。各プレイヤーには同じ「観光客」のセットが配られます。手札の「鬼」カードを上手く使って、できるだけ多くの「観光客」を危険から遠ざけることがゲームの目的です。ラウンドの終了時に、救出できていない観光客が最も多いプレイヤーがゲームに敗北します。

ゲームの準備

1. 3枚のトラックカードを数字が繋がるように並べ（次ページの画像参照）、その左側にトラックディスク2枚を置きます。
2. 任意の方法でディーラーを選びます。
3. すべての鬼カードをよく混ぜて各プレイヤーに15枚を手札として配ります。
4. 各プレイヤーに観光客カードを1セット配ります。各プレイヤーは自分のセットをよく混ぜて、そこから5枚を自分の手元に表向きで並べ、残りは手元に「個人デッキ」として置いておきます。
5. ディーラーの左隣のプレイヤーがスタートプレイヤーです。

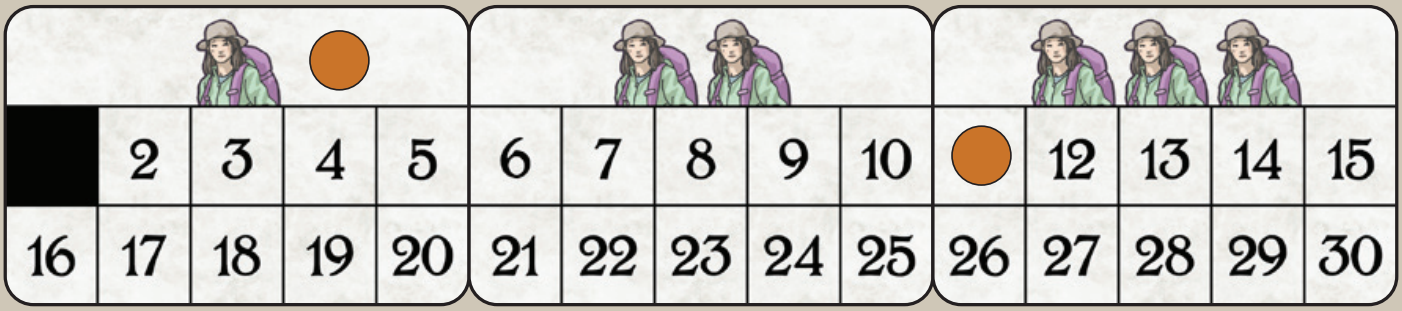




ゲームの流れ

最初にカードを出すプレイヤーは、観光客を1枚テーブル中央の場に出し、その両側に鬼を1枚ずつ出します（これを「同行」と呼びます）。選んだ観光客によって、同行できる鬼が異なります（後述）。同行している2枚の鬼の数値を足し合わせ、上段の「観光客1」のマスと、下段の「鬼の合計値」の該当するマスに1枚ずつトラックディスクを置きます。





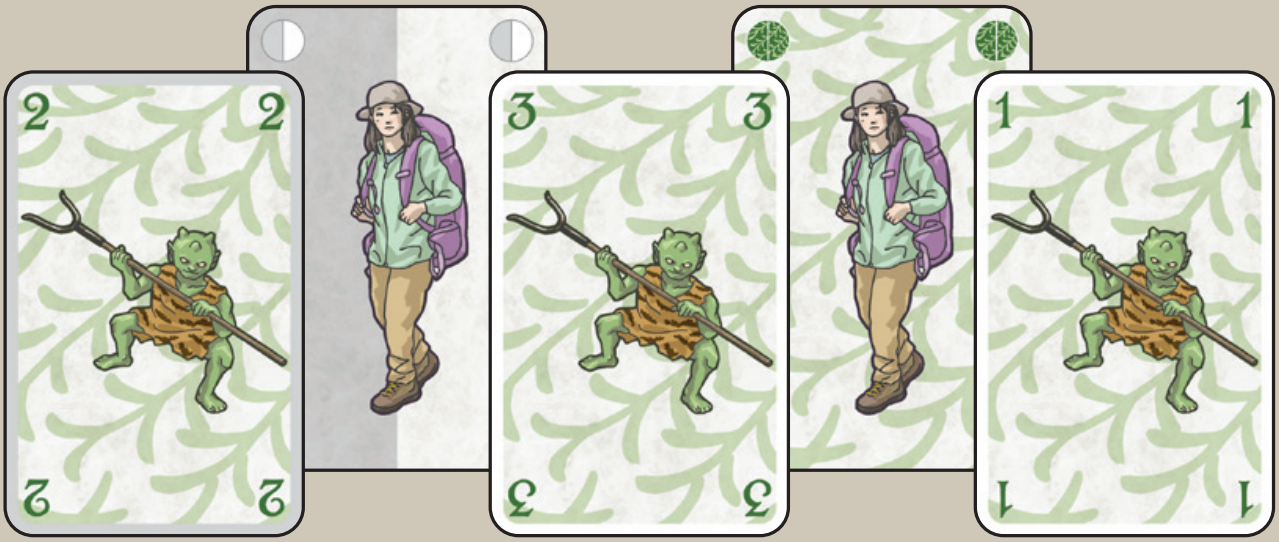
時計回り順に手番を行います。
次の手番プレイヤーは、以下のいずれかを選びます。

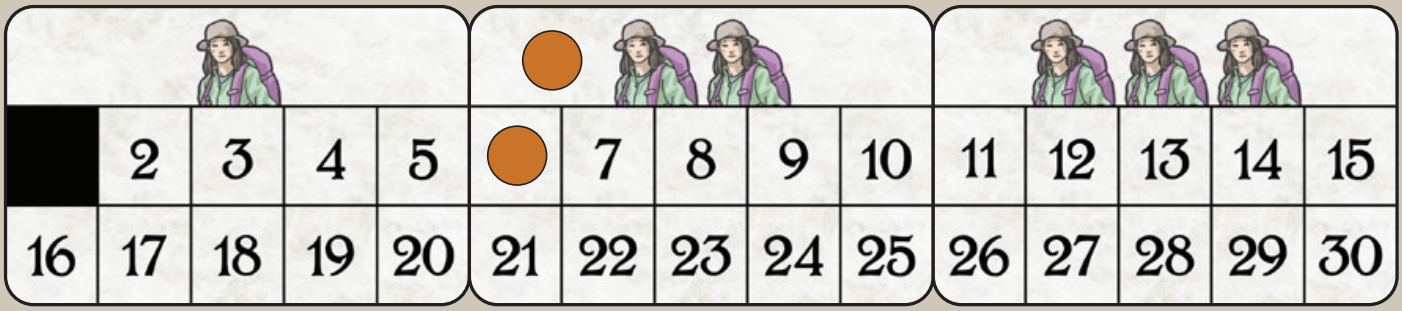
・観光客1枚に、直前に出されたカードより合計値が大きくなるように鬼2枚を同行して出す。

もしくは

・観光客2枚に、直前に出されたカードより合計値が小さくなるように鬼3枚を同行して出す（次ページの図を参照）。

これ以降も、次の手番プレイヤーは、同じ枚数で合計値が高くなるように出すか、観光客と鬼を1枚ずつ増やして合計値が低くなるように出すかを選択できます（観光客を4枚以上にすることはできません）。





注：出したカードに合わせて、必ずトラックディスクを移動させてください。

重要：スタートプレイヤーの最初の手番以外では、直前に出されたカードの両端にある鬼のうち、いずれか1枚を取り、必ず使用しなければなりません。取ったカードは自分が出すカードのどこにでも配置できます（必ずしも端に置く必要はありません）。

観光客カードには、同行できる鬼の色の組み合わせ、あるいは「偶数（灰色の枠）」と「奇数（白の枠）」の組み合わせのいずれかが表示されています。

カードを出した後に、自分の個人デッキから観光客カードを補充し、手元の表向きの観光客カードが5枚になるようにしてください。

カードを出せない（または出したくない）場合は、パスをすることができます。パスしても、そのカードが流れる前に再び自分の手番がきた場合には、再びカードを出すことができます（ソフトパス）。パスをしたら、個人デッキから観光客カードを1枚表向きで手元に追加することもできます（6枚以上が並ぶことがありますが、これにより手元の枚数が恒久的に増えるわけではなく、次に補充するまでの間だけ有効です）。プレイヤー2人が連続してパスをすると、場が流れます。出されたカードはすべて取り除いて脇に置き、最後にカードを出したプレイヤーが次のスタートプレイヤーとなり、観光客1枚＋鬼2枚の組み合わせを場に出します。

注：自分がプレイしたカードより強い（合計値が大きい、もしくは枚数が多い）カードが出されたら、自分が出した鬼カードをテーブル脇に置き、観光客カードを自分の手元に裏向きで置きます（個人デッキと混ぜないように気をつけてください）。これにより、テーブル中央の場には常にカードが1セットしか存在しない状態になります。

ゲームの終了

いずれかのプレイヤーが自分の観光客（個人デッキと手元の両方）をすべて出し切るか、手札の鬼カードを出し切るか、場が流れた後にルールに従ってカードを出し始めることができなかったときに、ゲームは直ちに終了します。
個人デッキと手元に残っている観光客が最も多いプレイヤーがゲームに敗北します。残っている観光客の数が同数だった場合は、それらのプレイヤーの手札に残っている鬼カードの枚数が最も多いプレイヤーが負けとなります。それも同数の場合は、もう1ゲームプレイしてください！



日本語ルール作成：SUNNY BIRD


歡迎親子鬼像
Welcome Demons